

# がん・生殖医療連携会議

## /Oncofertility Consortium JAPAN 2016 Meeting準備会議

平成28年度厚生労働科学研究補助金（がん対策推進総合研究事業）  
総合的な思春期・若年成人(AYA)世代のがん対策のあり方に関する研究

H27-がん対策-一般-005

班長：国立名古屋医療センター臨床研究センター長 堀部敬三先生

### 宮城県がん・生殖医療の現状

～宮城県がん・生殖医療ネットワーク発足へ向けた取り組み～

立花眞仁

東北大学産婦人科

吉田仁秋

仙台ARTくりニック



#### 生殖小班

聖マリアンナ医科大学医学部

岐阜大学大学院医学系研究科

岡山大学大学院保健学研究科

長崎大学医学部付属病院

滋賀医科大学医学部

埼玉医科大学総合医療センター

岐阜大学大学院医学系研究科

・産婦人科学

・産科婦人科学分野

・生殖医学

・産婦人科、生殖内分泌学

・産婦人科学

・産婦人科学

・産科婦人科学分野

鈴木 直

古井 辰郎

中塚 幹也

北島 道夫

木村 文則

高井 泰

森重健一郎

# ネットワークの運営体制（1）

紹介先の主な施設	複数 （東北大学産婦人科、スズキ記念病院、仙台ARTクリニック など）
紹介方法	病診連携（FAX：連絡票を作成中） 医師間のメール など
がん診療施設からの統一された情報提供書式	あり（現在準備中）
県外からの紹介	予想される
妊孕性温存実施施設	紹介先と同一 生殖医療実施施設へ紹介 <b>上記両方</b>
ネットワーク運用資金	寄付、研究費 など
ネットワークHome Page - 開設資金	あり（予定している） 教室HPとがん情報みやぎなど

## ネットワークの運営体制（2）

妊孕性温存に関する 情報提供内容	ネットワーク共通の資料やJSFPの HP情報を利用予定。
症例の情報	登録制をとり、ネットワークで（症 例数、実施の有無など）把握
施設間の交流方法 （患者紹介以外）	定期的な研究会の開催 メーリングリスト など
行政の関与	現在の所なし。
ネットワークの特徴	基幹病院中心に運営
ネットワークの課題	現状は生殖医療の提供キャパシテ ィが適応患者数を充足しているか が未知数。

# これまでの経緯

- H27/7月 ネットワーク発足の準備開始
- H27/8月 東北大学病院がん診療科（小児科、血液免疫科、乳腺内分泌外科、泌尿器科）各主任教授へ趣旨の案内と担当医師の推薦をいただく。
- H27/9月 各科担当の先生方を訪問し、趣旨の説明と潜在的な候補となる患者の人数等を伺う。
- H27/10～12月 生殖医療提供施設（スズキ記念病院と仙台ARTクリニック）と倫理委員会申請に向けた準備と適応基準、除外基準、料金等の設定。
- H27/12月 東北大学病院医療倫理委員会申請（医学的適応による卵子、胚凍結および精子凍結：宮城県がん生殖医療ネットワーク事業）
- H28/4月12日 東北大学医療倫理委員会認証（受付番号2015-1&-2）
- 医学的事由による卵子凍結について日産婦ART小委員会へ申請（7/27受理）
- H28/5/25 本日第一回予備会議

## 東北大学病院がん診療科の現状

小児科：

固形癌が多く、常時約5人程度の潜在的適応患者がいる（血液がんはこども病院が多い）

乳腺内分泌外科：

新患が1～3人/週、年間約50～60人の潜在的患者がいる。

血液免疫科：

免疫G エンドキサンパルスは年間で男2人、女10人の潜在的患者がいる。

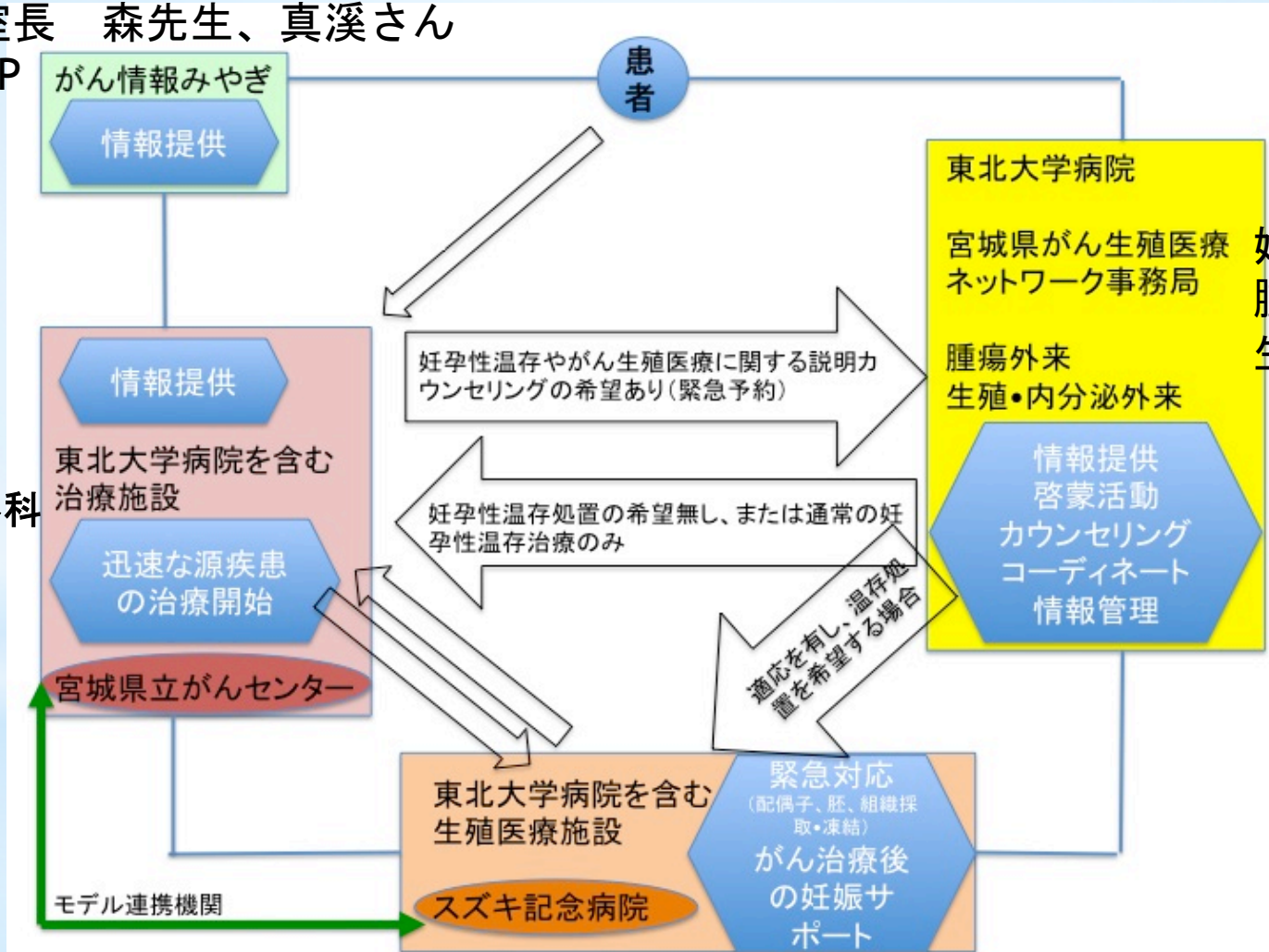
血液G 年間で男3人、女10人の潜在的患者がいる。

泌尿器科：

適応となる症例は殆どが精巣腫瘍で年間約10人の潜在的患者がいる。

# 宮城県がん生殖医療ネットワークモデル

がん情報室長 森先生、真溪さん  
産婦人科HP



婦人科  
腫瘍G  
生殖内分泌G

がん診療科  
小児科  
血液免疫科  
乳腺内分泌外科  
泌尿器科

スズキ記念病院、仙台ARTクリニック

# 第1回宮城県がん・生殖医療ネットワーク準備会議

日時：平成28年5月25日(水) 18:00～

会場：東北大学医学部3号館8階 産婦人科医局

参加21名

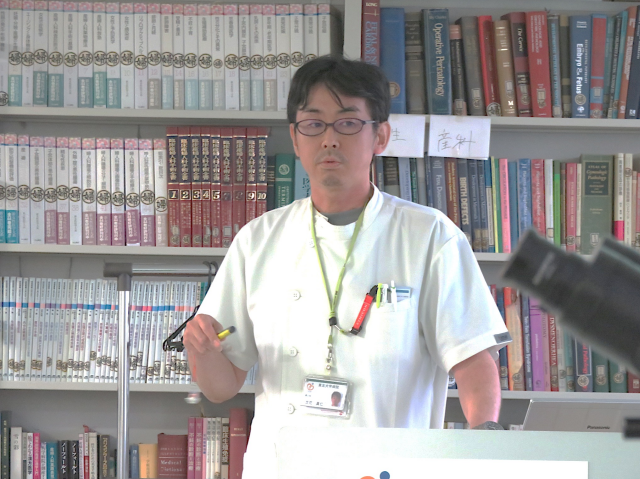
議題：

## I、報告事項

- 1、宮城県がん・生殖医療ネットワークの概要  
がん生殖医療の現状とネットワーク発足の経緯（立花）
- 2、がんセンターとスズキ記念病院の連携の現状（山田先生）

## II、協議事項

- 1、ネットワーク会則の策定と役員選出について（立花）資料1,2,3,6
- 2、ネットワーク運用にあたっての医療提供までの流れ；案（渡邊）資料4,5
- 3、ネットワーク事業開始と第一回キックオフミーティング開催の時期（立花）
- 4、ロゴの募集（立花）





## 宮城県がん・生殖医療ネットワーク会則（会則の資料を参照下さい）

第1条 本会は、「宮城県がん・生殖医療ネットワーク」と称する。

第7条 本会の経費は、東北大学病院産科学婦人科学講座の運営費、科学研究費、寄付、その他の収入を充てる。

### 役員一覧（会則を参照下さい）

#### 代表

八重樫伸生先生 東北大学病院病院長、産婦人科主任教授

#### 幹事長

星和彦先生、スズキ記念病院院長

#### 幹事

立花眞仁、東北大学産婦人科（事務局）

山田秀和先生、宮城県立がんセンター

吉田仁秋先生、仙台ARTクリニック理事長

#### 顧問（アドバイザー）

森隆弘先生 東北大学病院がんセンター、がん診療相談室長 教授

東北大学医療倫理委員会

#### 監事

和田裕一先生、宮城県産婦人科医会会長

菅原準一先生、東北大学、東北メディカルメガバンク地域医療支援部門 教授

- 第一回キックオフミーティング

案

日時：11月12日（土曜）午後

場所：国際センター会議室

特別講演：鈴木直先生（ASGO：ランチタイムセミナー兼）

- ネットワーク事業開始時期

案

平成28年11月1日から

- ロゴ募集

これまで多大なご協力とアドバイスを頂きました岐阜大学医学部産婦人科古井辰郎先生、聖マリアンナ医科大学産婦人科 鈴木直先生、滋賀医科大学産婦人科 村上節先生にこの場を借りて感謝申し上げます。